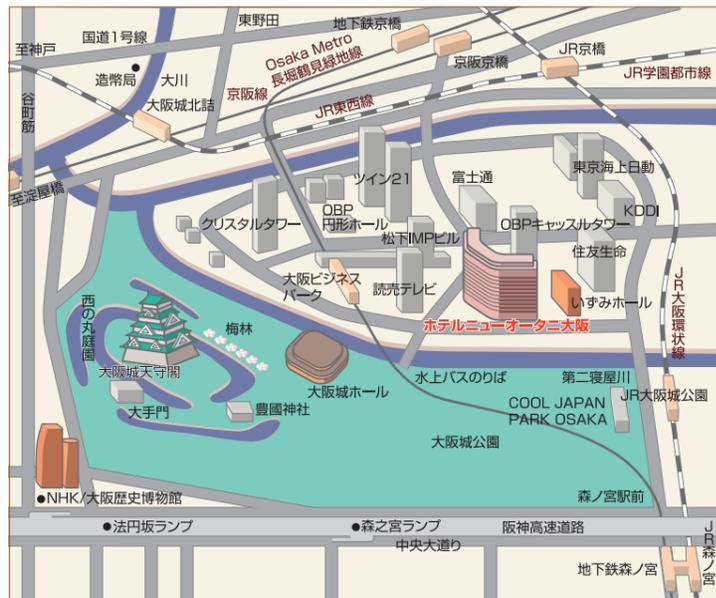


ACCESS MAP

ホテルニューオータニ大阪交通図



交通のご案内

[徒歩でお越しになる場合]

- JR大阪環状線・大阪城公園駅下車……………約3分
- Osaka Metro長堀鶴見緑地線・大阪ビジネスパーク駅下車……………約3分
- 各線、京橋駅下車……………約8分

[お車でお越しになる場合]

- 梅田より約15分 ● 難波より約20分 ● 新大阪より約25分
- 関西国際空港より……………約60分(約80分でリムジンバスが運行)
- 大阪国際空港より……………約30分
- 阪神高速東大阪線東行き、法門坂ランプより……………約5分
- 阪神高速東大阪線西行き、森之宮ランプより……………約8分



〒540-8578 大阪市中央区城見1丁目4番1号 TEL. 06-6941-1111(代表) FAX. 06-6941-9769
www.newotani.co.jp/osaka/

ホテルニューオータニ大阪

ご法事とご会食

故人を偲ぶ語らいのひととき

在りし日の面影を偲び、褪せることのない思い出に心巡らせるひととき。
故人への想いを胸に大切な人たちが集うご法事に関するすべてを
ホテルニューオータニ大阪では真心を込めてお手伝いいたします。



ご法事
プラン

“おもてなし”の原点を大切に、日本料理をはじめ、フランス料理、中国料理など多彩なメニューをホテルニューオータニ大阪の調理人が心を込めてご用意いたします。



※写真はイメージです。

●お料理 〈2つのコースよりお選びいただけます。〉

花鳥プラン ¥25,000

風月プラン ¥20,000

●お飲物 〈ビール・ワイン又は日本酒・ウイスキー・焼酎・ソフトドリンク・ウーロン茶〉

※料金にはお料理、お飲物、室料、卓上装花、税金・サービス料が含まれます。 ※上記料金は1名さま料金です。 ※正餐は10名さまより承ります。
※お料理は、季節により内容を変更する場合がございますので詳しくは係にお問い合わせください。

会場
設備

格调高く落ち着いた雰囲気の大小さまざまな会場、装花、衣裳、美容室、ビデオや写真撮影、お客さまのご宿泊やご送迎、お引き物の手配まで、特別な一日に求められるあらゆるご要望に、ホテルニューオータニ大阪ならではの“おもてなし”でお応えいたします。



2F THE HŌ 鳳凰



B1F PRIMROSE プリムローズ



18F SUNSET サンセット



2F MANHATTAN CRANE マンハッタンクレーン



装花

当ホテル専属のフローリストが、心安らぐお花をご用意いたします。

- 写真サイド花(1対) ¥33,000より
- 卓上花 ¥3,300より



写真・ビデオ

- ビデオやスライド上映、ビデオ撮影、記念写真撮影を承ります。
- ビデオ上映 — ¥70,000より
- ビデオ撮影 — ¥165,000より
- 写真撮影 — ¥25,300より(六ツ切1組3枚)
- スナップ撮影 — ¥16,5000(70景1冊)

故人の写真の引き伸ばしもいたします。

その他

衣裳・美容・ご宿泊・お引き物のご相談も承ります。

※料金には税金が含まれます。

準備
手配

ご法要に関するすべてをお手伝いいたします。

ご法事は故人の供養のために行う行事です。神道では霊祭、キリスト教では追悼集会やミサと言い、いずれも親戚や親しい方を招き、法要(仏教では読経、焼香、墓参り)を行い、その後、ご参列した方への感謝の気持ちとして会食(お斎)の場を設けます。特に儀式めいた決まりはありませんが、大切にしたいのは故人を偲びながら和やかなひとときを持てるよう気を配ること。施主さまご招待客とともに特別な一日をお過ごしいただくために、ご法要におけるすべての気配り・ご手配は、ホテルニューオータニ大阪にお任せください。

招待する人	一周忌までは近親者の他に友人、知人にもご案内します。通知は1ヶ月くらい前までに封書でご案内状を発送します。三周忌以降、徐々に内輪にしていきます。	●案内状など各種印刷物のご手配を承ります。
場所の決定	自宅で行うには相応のスペースが必要なため、寺院や会館、ホテルで営むケースが増えていきます。遠方からのご参列者のために、交通の便、宿泊の手配、駐車場の有無なども考慮しましょう。	●駐車場(500台)完備 ●送迎のバス・ハイヤーのご手配 ●参列者さまにお着替え室をご用意 ●ベビールーム完備
引き物の準備	法要を行う場所の決定、お寺への依頼、案内状の発送を行い、お引き物の用意をします。お引き物の表書きは「粗供養」か「志」、または「故人(戒名)の〇回忌法要」とし、下に施主の名前を書きます。	●お香典返しのお品や、お引き物のご手配を承ります。
法事の服装	葬儀の時ほど厳密な決まりはありませんが、一周忌までは施主側は正式喪服にするのが一般的です。回を重ねるごとに簡略化し、地味な色柄なら黒以外でもかまいません。	●喪服、略服のご用命を承ります。 ●お着付けを承ります。 [ご予約・お問合せ] コスチュームサロン TEL.06-6949-0144
法事の進め方	会場には祭壇があり、その前に献花台が用意されていますので、会場入口でご参列者にお花をお渡しし、献花をお願いします。施主は予め献花し、祭壇の横に並んでご参列者をお迎えください。全員が着席されましたら施主がはじめの挨拶を行い、続いて1~2名のご挨拶をいただきます。その後、献杯、ご会食です。ご会食終了間近に、施主がお礼の挨拶をし、お開きとなります。	●献花をご用意いたします。 白菊 ¥550 白カーネーション ¥440
お日取り	命日に営むのが理想的ですが、お寺や招待客の都合に合わせて命日より前の近い日を選びます。	
	「仏教」 亡くなられた日から7日目にあたる初七日から四十九日までに、7日ごと七回忌日があり、100日目の百か日忌までを追悼法要と言います。翌年の同月同日(祥月命日)の一周忌から年忌法要と言います。その翌年が三回忌、以降亡くなった年を1として6年目を七回忌、12年目を十三回忌と数え、十七回忌、二十三回忌、二十七回忌、三十三回忌、五十回忌、百回忌を営みます。現在は三十三回忌で弔い上げとし、永代供養するのが一般的です。	
	「神道」 亡くなられてから10日ごとに十日祭、二十日祭、三十日祭、四十日祭、五十日祭を行います。現在では五十日祭をもって忌明けとなるのが一般的です。忌明けの翌日には「清祓の儀」を行い、その後、百日祭、一年祭、三年祭、五年祭、十年祭、二十年祭、三十年祭、四十年祭、五十年祭、百年祭を営みます。特に一、三、五、十年祭は盛大に催します。	
	「キリスト教」 一般的にカトリックでは亡くなられてから三日目、七日目、三十日目、その後は一年ごとに追悼ミサを行います。プロテスタントでは七日目、十日目、一ヶ月目に記念祭を催し、お祈りを捧げ、一年目、三年目、五年目と続きます。特に決まりはありませんが、ご遺族が記念する日に式典を催す事が多いようです。	

ご法事のご予約・お問い合わせは TEL.06-6949-3223 (営業部直通)